

宮城県特別支援教育将来構想実施計画（後期）の進捗状況について

目標	自立と社会参加
主な取組	就学相談活動への支援（優先課題1）
事業名	1 就学支援審議会
担当課	特別支援教育課
事業内容	障害のある児童生徒の就学に係る教育支援に関する重要事項の調査・審議
取組方針・達成目標	令和2年度から各市町村の就学支援審議会で判断に迷うケースに、より対応できるよう、県の審議会の時期を10月、12月に設定する。また、専門委員会の調査後に市町村の判断内容で確認が必要なものがあれば、12月に助言内容を審議する機会を設ける。特に県の審議会の時期について、各市町村で活用しやすい日程になるよう調整する。
令和4年度実績	市町村からの就学審議会で判断に迷うケースを審議できるよう、10月と12月に審議会を予定していたが、各市町村教育委員会からの助言の申し出はなく、開催はなかった。
令和5年度事業概要	各市町村教育委員会から就学先の判断等に対する助言の申し出があった場合、10月13日、12月13日に審議会を開催する。

目標	自立と社会参加
主な取組	就学相談活動への支援（優先課題1）
事業名	2 障害児教育支援相談活動事業
担当課	特別支援教育課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○障害児就学事務担当者説明会及び研修会の開催 ○リーフレットの作成・活用 ○市町村教育委員会への特別支援コーディネーター派遣 ○就学支援の手引きの改訂
取組方針・達成目標	令和2年度から派遣の時期を市町村教育委員会の審議会開催時期に近い9月に移行し、夏休み中に十分教育相談を行った後に申し込めるようにする。また、令和4年度までに、調査期間を調整しながら特別支援学校に教育相談等を受けている情報を、市町村に提供し、就学見込みの児童生徒が十分に教育相談を受けて就学先を決められるようにする。 就学支援の手引きについて、市町村担当者等の意見を聞きながら校正作業を行い、令和2年1月までに完成させる。
令和4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町村教育委員会就学担当者及び特別支援学校地域支援コーディネーターを参集しての障害児就学担当者説明会の開催。 ○就学相談ガイド「よりよい就学のために」（リーフレット）の作成、配布（5月） ○市町村教育委員会からの就学相談の要請に応じ、特別支援教育コーディネーターを派遣を予定していたが、令和4年度の要請はなかった。
令和5年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町村教育委員会就学担当者及び特別支援学校地域支援コーディネーターを参集しての障害児就学担当者説明会及び研修会の開催 ○就学相談ガイド「よりよい就学のために 令和5年度版」（リーフレット）の作成、配布 ○市町村教育委員会からの就学相談の要請に応じ、特別支援教育コーディネーターを派遣する就学相談活動の実施 ○「就学支援の手引き」を活用した就学相談、転学事務等の実施

目標	自立と社会参加
主な取組	就学相談活動への支援（優先課題1）
事業名	3 教育相談調査研究等事業
担当課	総合教育センター（特別支援教育課予算）
事業内容	総合教育センター指導主事による定期巡回教育相談、要請教育相談、来所相談、電話相談
取組方針・達成目標	発達支援に関する相談を中心に、相談件数が年々増加している状況において、保護者や学校からの相談に適切に対応するため、相談員を十分確保するとともに、医療・福祉等と連携した相談体制を整備する。
令和4年度実績	<p>○3名の指導主事と公認心理師4名、電話相談支援員3名が連携を図りながら障害及び発達の遅れや偏りのあると思われる幼児児童生徒の実態に応じた教育についての相談を行った。来所教育相談の実施件数は321件で、そのうち85件の公認心理師による発達検査を実施した。</p> <p>○電話教育相談は1、333件で、電話相談支援員や担当指導主事が相談に当たった。</p> <p>○定期巡回教育相談は、県内8会場において計38回の巡回教育相談を実施、相談件数は95件であった。</p> <p>○要請教育相談の実施件数は4件であった。</p>
令和5年度事業概要	<p>○令和5年度も引き続き、障害及び発達の遅れや偏りのあると思われる幼児児童生徒の障害等の実態に応じた教育について相談を行う。</p> <p>○指導主事3名、臨床心理士4名、電話相談支援員3名が連携を図りながら電話相談、来所相談にあたる。</p>

目標	自立と社会参加
主な取組	就学相談活動への支援（優先課題1）
事業名	R5-1 視覚障害・聴覚障害のある乳幼児に対する教育相談充実事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校
事業内容	視能訓練士や言語聴覚士による乳幼児教育相談（来所、市町村への訪問、オンライン）
取組方針・達成目標	発達支援に関する相談を中心に、相談件数が年々増加している状況において、保護者や学校からの相談に適切に対応するため、相談員を十分確保するとともに、医療・福祉等と連携した相談体制を整備する。
令和4年度実績	—
令和5年度事業概要	<p>○視覚支援学校に視能訓練士、聴覚支援学校に言語聴覚士を派遣し、乳幼児教育相談担当者の専門性を高める。</p> <p>○遠方の乳幼児を対象とした移動教育相談やオンライン教育相談を実施する。</p> <p>○幼稚園、小学校等での教員向け研修会や普及パンフレットの配布により、早期支援の充実を図る。</p>

目標	自立と社会参加
主な取組	連携体制の確立（優先課題1）
事業名	4 特別支援教育総合推進事業
担当課	特別支援教育課
事業内容	・宮城県特別支援連携協議会（情報交換、課題の共有）の実施
取組方針・達成目標	令和2年度宮城県特別支援連携協議会において事業反省のまとめ及び各市町村における特別支援総合推進事業に係る会議実施状況調査を通じて、各市町村における課題等を共有し、令和6年までに特別支援教育の体制の整備、小・中学校等の特別支援教育コーディネーターの育成を図る。
令和4年度実績	○特別支援教育連携協議会（会場：県庁講堂） ・参加者：県立特別支援学校長会会長、子ども総合センター、発達障害者支援センター、障害福祉課、子ども家庭支援課、総合教育センター、高校教育課、義務教育課、各市町村教育委員会、各教育事務所、特別支援学校（特別支援教育コーディネーター） ・第1回：令和4年4月25日(月)、参加人数80名 ・第2回：令和5年2月10日(金)、新型コロナウイルス感染予防のため、講演をオンデマンド動画配信し、資料配布を行った。
令和5年度事業概要	○R5年度も引き続き年2回、特別支援教育連携協議会を実施する。 ○特別支援教育連携協議会（会場：県庁講堂） ・参加者：R4年度と同じ ・第1回：令和5年4月25日(火) ・第2回：令和6年2月1日(木)

目標	自立と社会参加
主な取組	連携体制の確立（優先課題1）
事業名	4 特別支援教育総合推進事業
担当課	特別支援教育課
事業内容	○個別の教育支援計画作成の手引きの調製 ○個別の教育支援計画作成指導研修会の開催
取組方針・達成目標	障害のある児童生徒への早期の支援及び保護者の障害に対する理解促進を図る一助として、幼稚園や保育所等での引継ぎに関する課題を探り、個別の教育支援計画作成に向けた手引等を調製し普及を図る。幼稚園や保育所等及び小学校双方からの引継ぎにおける課題やスムーズな移行のために必要事項等を整理・分析、幼稚園・保育所等で個別の教育支援計画作成・実践し、令和6年までに個別の教育支援計画作成運用の充実を図る。また、個別の教育支援計画活用の有効性、手引きの要点・大事な視点等を踏まえた研修会を実施する。
令和4年度実績	○R3年度に引き続き「就学前からつくる個別の教育支援計画作成「つなげるための作り方と使い方」」の活用と幼稚園等での作成を推進するため、演習等を含む研修会（年2回）を実施した。 ○「個別の教育支援計画」活用支援研修会 ・参加者：県内の公立私立の幼稚園・保育所等の未就学児に関わる教育関係者、小学校、特別支援学校の教育関係者 ・第1回：令和4年6月18日(土)＜新型コロナ拡大防止のためオンライン研修＞、内容「個別の教育支援計画」作成のポイント 参加者：117名 ・第2回：令和4年11月11日(金)～12月28日(水)＜新型コロナ拡大防止のためオンデマンド研修＞内容「個別の教育支援計画」活用のポイント 参加者：258名
令和5年度事業概要	「個別の教育支援計画作成のための手引き」を増刷し、普及を図る。

目標	自立と社会参加
主な取組	特別支援学校における進路指導充実
事業名	5 特別支援学校進路指導充実事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学校地域連携協議会の開催 ○講演会の実施 ○進路支援研修会の実施
取組方針・達成目標	<p>県立特別支援学校に在籍する生徒一人一人の高等部卒業後の自立と社会参加に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促すため、校内の組織体制の整備や労働・福祉等の関係機関と連携、地域や産業界等の人々の積極的な協力を得るなどして進路指導を充実させる。</p>
令和4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら各校の状況に応じて地域連携協議会や研修会、講演会などを実施した。また、昨年度に引き続き、関係機関と電話等で情報共有を図った。 ○9月2日（金）会場変更、感染対策を行い、県内特別支援学校進路指導主事を対象に進路支援研修会を実施した。一條牧場代表一條重人氏並びに一條牧場で働く県内特別支援学校卒業生による講演後、パネルディスカッションを実施した。 ○必要に応じて卒業生の就労先を訪問するなど個別のアフターフォローを実施した。
令和5年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導連絡協議会の実施（3ブロック実施） 北部【代表校：小牛田高等学園】、中央【代表校：利府支援学校】、南部【代表校：聴覚支援学校】 ○進路支援研修会の実施（対面での情報交換を再開予定。進路指導担当者の横のつながりを強化していく。） ○各学校の進路指導主事を対象に新しい職域とのネットワーク作り

目標	自立と社会参加
主な取組	特別支援学校における就業定着支援（優先課題1）
事業名	6（非予算事業）
担当課	県立特別支援学校
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画の作成と活用 ○就労した卒業生に対するアフターフォロー
取組方針・達成目標	<p>県立特別支援学校に在籍する生徒一人一人の卒業後の自立と社会参加に向け、個別の教育支援計画を活用しながら、生徒が必要とする支援を十分に受けられるよう各関係機関（福祉機関、ハローワーク、就労・生活支援センター等）と連携・協力しアフターケアや障害者雇用に係る理解啓発、地域支援等を行う体制を整備する。</p>
令和4年度実績	<p>新型コロナウイルス感染症予防の観点から対策等を十分に考え、各特別支援学校の進路指導部や地域支援部が中心となり、地域の感染状況や福祉サービス事業所及び一般企業等の感染予防対策の状況に応じて、訪問による面談など卒業生に対するアフターケアを実施した。</p>
令和5年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○進路先への円滑な接続と支援の継続を図る切れ目ない支援体制づくりを進める。 ○福祉サービス事業所及び企業側へ進路支援を実施する。 ○各校の支援の状況や方法等について、各種会議等において積極的な情報交換を行う。

目標	自立と社会参加
主な取組	文化スポーツ等に関する学習活動等の充実
事業名	7 宮城県特別支援学校文化祭事業
担当課	特別支援教育課、特別支援学校
事業内容	共生社会の実現に向けた特別支援学校文化祭の実施
取組方針・達成目標	生徒の満足感や自己有用感を高められる内容づくりに努める。また、令和2年度中に文化祭の成果と課題を精査し、令和4年度以降の特別支援学校文化祭の在り方について検討する。
令和4年度実績	<p>○実施期日 令和4年11月7日（月）～11日（金）</p> <p>○場所 県庁1階県民ロビー、玄関ホール</p> <p>○内容 <発表> 県内特別支援学校の学校紹介パネル展示（全校） ステージ発表（5校）</p> <p><販売> 県内特別支援学校の高等部作業製品販売（10校）</p> <p>○その他 仙台市中心部に設置されている「まちくるビジョン」とフォーラスビジョンでの特別支援学校のPR映像の放映</p> <p>○来場者数 パネル展示、ステージ発表、製品販売を合わせておよそ1,300人</p>
令和5年度事業概要	<p>○実施期日 令和5年11月6日（月）～10日（金）</p> <p>○場所 県庁1階県民ロビー、玄関ホール</p> <p>○内容 <発表> 県内特別支援学校の学校紹介パネル展示（全校） ステージ発表（希望校）</p> <p><販売> 県内特別支援学校の高等部作業製品販売（希望校）</p> <p>○その他 仙台市中心部に設置されている「まちくるビジョン」での特別支援学校のPR映像の放映</p>